

「只見 移住物語」

二地域居住者

【移住者のご紹介】

- ・お名前：大宮 ^{あきら}明さん（68歳）
みゆきさん（66歳）
- ・ご家族：長女（独立 42歳 埼玉）、長男（独立 38歳 神奈川）
トラジ君（同居 猫 推定 11歳、飯舘村で4年前に保護された原発被災猫 ♂）
- ・いつ：平成2年（1990年）から溪流釣りで通う
- ・どこから：神奈川県 鎌倉市
- ・どこへ：大字 長浜 字 ^{からさわ}柄沢
- ・いましていること：明さん 只見町 公認自然ガイド
只見町 野生動植物保護監視員
只見町 ブナセンター友の会 役員
ふるさと 只見案内人協会 役員
只見の自然に学ぶ会 役員
只見町広報員 ふるさと大使
- みゆきさん 只見町 公認自然ガイド
只見町 ブナセンター友の会 会員
只見の自然に学ぶ会 会員
河井継之助記念館 ボランティア ガイド
会津只見史談会会員
- 筑前琵琶奏者 ^{おおみや きよくけい}大宮 旭溪
筑前琵琶日本旭会所属
筑前琵琶湘南旭会所属
日本琵琶楽協会会員
NPO 法人筑前琵琶連合会所属
- ・まえにしていたこと：公立学校職員（ご夫妻ともに）



大宮ご夫妻とトラジさん

【始まり】【家族】【準備】

30年前、1990年（平成2年）から溪流釣りで金山や^{かねやま ひのえまた いわゆる} 檜枝岐 所謂 奥会津へ通い始めました。妻も一緒に（溪流釣りを）始め、通っていました。

南会津、奥会津を中心に通いました。金山へは相当通いました。只見にも通いました。ここに来るきっかけは溪流釣りで、あそこの壁に魚拓が貼ってあるでしょ、10年前に私が釣ったイワナで48cmあります。息子も釣りをしますが、息子は50cmを、この人（みゆきさん）は50.5cmを釣って、私が一番短い。私の経験が一番長いのに、一番小さいのしか釣っていないのです。（明さん）

欲張ったから。（みゆきさん）

このイワナを釣り上げたのは〇沢と言う所で、小さな沢です。もう10年たちましたね。（明さん）

あの水害（2011年7月の新潟・福島豪雨）で沢がほとんど駄目になって、魚が居つく

ポイントが無くなってしまいました。(みゆきさん)

その前に原発事故（2011年3月11日東日本大震災）もあったからね。(明さん)

金山へ通い続けるうちに自分たちの「拠点」を持ちたいと考え始めました。夏休みになれば家族全員で滞在するので民宿に年間100万円以上払っていましたから。(明さん)

そう夏休みは、10日くらいは確実に来ていました。(みゆきさん)

1週間以上とか。4人で1週間いけば、いくら民宿でもね。(明さん)

まず金山で（拠点になる場所を）探しました。(みゆきさん)

でも空き家があっても駄目でした。私は持つもりではなく、借りるのでも良いと思っていたのですが、人に貸すと取られてしまう感覚があったみたいで、どうしても駄目でした。(明さん)

あの頃は（空き家を紹介してくれる「空き家バンク」のようなものは）どこにもないし、金山にもまったくなくて、知り合いにお願いして、あたってもらっても結局は手放す気はないってことになって、終わってしまいました。(みゆきさん)

溪流釣りは9月30日で禁漁になりますが、10月になればキノコの最盛期になるでしょ。溪流釣りで溪流を歩いていると自然とキノコに出会うのです。ナメコとかムキタケとかね。また11月になれば鉄砲（狩猟時期）が始まって、地元の親しい方から「鴨鍋するから来ないか！」って誘われたりして、だんだん利用する期間が長くなって、ますます拠点が欲しいと考えました。(明さん)

金山時代は、9月になると土日、土日は全部来ていました。週末に休暇を挟んで金、土、日とか、土、日、月とか。(みゆきさん)

9月は、半分以上はこちらに来ていました。4連休があると、前日か、後の日に休暇を入れると5日間いられるじゃないですか。そんな感じで9月はもう半分以上はこちらに来ていました。(明さん)

9月はこちらの住人でしたね。私たち職場は違いますが、仕事は同じ（公立学校職員）でしたから。「一人職場（一つの学校に一人の事務職員）」なので、ある程度の融通が利かせられる職場だから、計画がたてられたのです。(みゆきさん)

文科省の方針で、公立小中学校の行政職員は基本一人(定員数)なのです。現業の用務員さんを除けば、あとは皆 教員です。斜め前に住む S さん、いわきの方ですが、実は同じ公立学校職員で、事務職員の全国組織でのつながりがあって、昔からの知り合いです。原発事故が起きた際に、S さんから緊急避難する相談を受けたので、ここを紹介しました。ここに誘ったのは私たちです。(明さん)

ちょうど「(物件が) 売りに出ているよ」ってお話しました。(みゆきさん)

話しを金山時代に戻しますが、拠点を求めてあれやこれや調べていくうちに「たもかく(現みんなの森協同組合)」に出会いました。(みゆきさん)

何軒か物件を案内してもらい、たもかくが管理している別荘地の一角にある家を借りることができました。その家のオーナーは県外在住の方で、管理人の方が管理されている家でした。これで自分たちの拠点が出来たと思ったのですが、1年たたないうちにオーナーの方から明け渡しの要望があって返しました。借りていた家でお蕎麦屋さんを計画されたようです。

そんな状況を見ていたたもかく代表 K 氏から幾つか提案、別物件の紹介を受け、この家にたどり着きました。2003年(平成15年)10月に、この家を購入しました。私たちが三代目のオーナーになります。設置されていたストーブを見てほれ込んでしまいました。あの赤いストーブです。柄沢に来て18年、ここを買って17年が経ちます。
(明さん)

私が体調を崩して2000年1年間 仕事を休んでいたのですが、体調も回復して、先の目途が立ち始め、どこかに泊まれる拠点が欲しいと、考え始めていたところでした。だから拠点づくりには積極的でした。そして、私が大イワナ(ファミリー1位)を釣った日に、契約をしました。(みゆきさん)

家族の反応は良かったです。息子は釣りをするし、娘は別荘が出来たようなもので、ただ遠いのが難点といていたな。(明さん)

ここへの移動は車ですが、でも2人で交代しながら運転できるので楽ですよ。それと1997年(平成9年)の時から猫が加わりました。猫好きなので。いまいる子(トラジ君)の2代前の猫を連れて、車に乗せて移動しました。

お盆や何かで私の田舎に帰省すると、虫採りや、そんなことばかりしていました。子供たちも一緒について遊びまわるみたいな生活をしていましたから、気にもなりませんでしたし、家族 誰もが嬉しかったと思います。(みゆきさん)



「森の家」外観写真

【現在】【変化】

明さんが、いまされている活動

- 只見町 公認自然ガイド
- 只見町 野生動植物保護監視員
- 只見町 ブナセンター友の会 役員
- ふるさと 只見案内人協会 役員
- 只見の自然に学ぶ会 役員
- 只見町広報員 ふるさと大使

みゆきさんが、いまされている活動

- 只見町 公認自然ガイド
- 只見町 ブナセンター友の会 会員
- 只見の自然に学ぶ会 会員
- 河井継之助記念館ボランティア ガイド
- 会津只見史談会会員

筑前琵琶奏者 おおみや きよくけい 大宮 旭溪

- 筑前琵琶日本旭会所属
- 筑前琵琶湘南旭会所属
- 日本琵琶楽協会会員

NPO 法人筑前琵琶連合会所属

冬もいますよ。年間を通してコンスタントに、4週間ここにいると、1週間 鎌倉にいる感じです。5週のうち8割をこちらにいますから、まあ半分は移住しているようなものですね。向こう（鎌倉）の方が別荘と言う感じですか。（明さん）

鎌倉に、この人の母親がいたのですよ。（みゆきさん）

だから、その関係で（鎌倉と只見を行き来しました）。（明さん）

お正月前後に来るようになったのは退職する2~3年前からかな。退職した年からは、ほぼ冬場はこちらが主で、お正月も当然いて、さっきも言ったように1週間くらいちょっと戻って、もう8年になります。（みゆきさん）

こちらに来て良かったと感じる事はいっぱいあるけど、一番は水が美味しいことだね。
（明さん）

お酒も美味しいでしょ。（みゆきさん）

お酒はどこでも美味しいけど、やはり水が美味しい。簡易水道だけど違う。汲んで持って帰ったくらいだからね。（明さん）

そう、そう大きなポリタンクで持って帰った。（みゆきさん）

あと色々なところに湧水もあるじゃないですか。（明さん）

大倉というところに*「崖下清水」という湧き水があって、息子は必ず汲んで帰っています。（みゆきさん）

以前 町が湧水調査をして「只見町 名水10選」を選定しました。その中に猫淵清水という湧水があるのですが、ここは町内で唯一の硬水なのです。ここのお水も美味しいですね。
（明さん）

*「崖下清水」も「只見町 名水10選」の一つ。

あと良かったのは、前はキノコを採った後は、軸（石づき部分）を切り捨てる作業を行って、残りを持ち帰って向こうで処理していたのです。ここが出来てからは、ここで全部きれいに処理して、保存までできるので、すごく楽になりましたね。（みゆきさん）

深い緑に囲まれていて、私たちは、ここを「森の家」って呼んでいるのです。他の方は伐採していますが、うちは杉を何本か切った位で…。カタクリが沢山出てきま

した。水害の後に長浜沢に入っていませんが、奥にすごく太いブナがあるのです。何本も。越後のマタギ？、大工？が（樹皮に）刻んだ跡が、そのまま残っています。写真を撮りましたが、それでももう十何年前ですから。砂防ダムのところを橋を渡り、林道を登ってゆくと、車止めが在って、その後はゼンマイ道になる。良いところです。（みゆきさん）

冬場なんて、誰にも会わない日がありますから。そんな事いくらでもありますからね。
(明さん)

まったくストレスがかからなくていいですね。（みゆきさん）

変わったことと言えば、私は生物なんか全然興味なかったのです。文系の方で。こちらに来て生物に興味を持ちました。地元の方でやはり生物に詳しいWさんと言う方と知り合いになったり、ブナセンターの自然ガイドの研修を、宿泊研修も含めて、一冬の間 受けたりして、どんどんと、その方向にのめり込んでいきました。購入する本も植物とかに関係するものばかりになりました。（明さん）

トンボは、前から好きでした。（みゆきさん）

そう、トンボが好きだったので池を作りました。自然に関心の高い人たちの知り合いが増えました。ここは別荘地なので、ご近所の方とはいっても、地元の方との付き合いが多いわけではありません。日頃のお付き合いは少ないかもしれませんが、自然に興味を持つ只見町の方とのお付き合いを通して、自分たちの暮らしは豊かに、楽しくなるし、また只見町へ貢献できると理解しています。集落、部落、区の中には入っていませんが、それを補い、相互に良いところがあると思うのです。（明さん）

【将来】

やはり「最後の最後まで、通えるうちは通いたい」これに尽きます。

自然に関する活動と、それに関わる方々とのお付き合い、交流がとても楽しいのです。

溪流釣りは、今年は3回しか行っていません。溪流釣りシーズンは4月から9月までなのですが、4月は寒くて、今年は少なかったですが、雪が多くてほとんどしませんでした。5月の連休後くらいから始めました。伊南川の館岩から、桧枝岐村の境あたりから只見川合流点までが一つの漁協になっていて、そこの*年券、1年間 何回どこで釣ってもいいと言う券を買っています。でないと1日幾らの日釣券、南郷の、1軒だけある釣具屋さんで日釣券を買って釣場に入らなければいけないのです。釣りはできる限りして行きたいですね。息子の子供、孫まで溪流釣りをするようになりました。11歳、小学校5年生も溪流釣りをします。（明さん）

*遊漁券、各地域の漁協が発行する遊漁の許可証で釣り券、鑑札とも言われる。

自分で仕掛けを作れるようになって、なんかその気になっていますね。(みゆきさん)

コロナ禍だから、孫はまだ1回しか来ていないけど「釣りをして、釣れてよかった」と言っていました。息子と孫、私の3人で小さな沢に入るので、孫の世話は息子に任せっぱなしです。(明さん)

【不便】

いまはコロナ禍なので演奏会(みゆきさんの筑前琵琶)が出来なくなっていましたね。先の演奏会は*ブイチェーンの近くでSさんと言う方が「山響(やまびこ)の家」という農家民泊をされていて、その2階で行いました。旦那さんは昨年まで森林組合長をされていた方です。只見町の歴史で言うとスキーの普及に尽力を注がれた方です。(明さん)

*食料品を主体としたスーパーマーケットで、福島県郡山市 株式会社ブイシージーが親会社。
只見町のメインスーパーマーケット。

そこが会場になって、とても良い雰囲気のところなのです。河井継之助記念館ボランティアガイドも琵琶の縁です。(みゆきさん)

だけど鎌倉に戻った1週間で、私は時間を持て余し、なんの楽しみもなく過ごしていましたが、この人は、ハードスケジュールの中をお師匠さんのところへお稽古に通っています。(明さん)

ここでも普通に暮らしているならそれほど困ることはありませんね。(みゆきさん)

皆さん、そうなのでしょうが、やはり(命に係わる)大病の時は困りますね。(明さん)

食材なんかも、冬を越せば、やりくりの仕方も覚えてしまう。何をどれだけ保存しておけばよいか分かるようになるから不便は感じません。ブイチェーンにもあまり行かないで済みます。基本は会津田島を通るときに調達して、冷凍や他のものを振り分けておいて、足りないものをブイチェーンで買います。(みゆきさん)

高田の納豆とかね、高田の納豆は美味しいね。(明さん)

鎌倉から戻ってくるときは湾岸線に入り羽田空港の真ん中を突っ切り、ディズニーランドの手前を北上して中央環状線を経て川口JCTに入ります。東北自動車道の西那須野塩原ICで降り、下道を走って会津田島に入るのがメインルートですね。(みゆきさん)

首都高速が事故で渋滞しているときは茅ヶ崎JCTから圏央道に入ります。時間はほぼ同じ

ですが、料金はだいぶ高いかな。(明さん)

【健康】

他に健康面で注意していることは特にありません。病気は急性系ではなく慢性系を、それなりに持っています。毎朝 体重を量っていますよ。(明さん)

この人は、全然注意していません。病院関係は戻った時に診てもらえますが、ただ歯医者さんだけ、診療所の歯医者さんへ行っています。(みゆきさん)

私は50年間、歯医者さんへ行ったことがありません。虫歯があっても歯医者に行った事がなかった。歯医者嫌い、大嫌い。歯医者好きな人いないでしょう。痛み止めとかで頑張っ
て、全然行きませんでした。(明さん)

普通の人にはしかたなく行きますが、子どもの頃のトラウマがあったらしく、嫌いな
の。私は歯医者さんに行きます。コンサートの後に歯に問題があって、友人に相談したら「診
療所のS先生いいよ」ってアドバイスを受けて診療所に行くようになったのです。そんな
こともあってその友人が、この人の背中を押して、やっと診療所の歯医者さんに行くよう
になりました。だから歯医者さんはこちらが主治医です。

向こう(鎌倉)で歯のトラブルがあったら、この人 行くところがない。(みゆきさん)

初めての歯科医院へ行かなくてはいけない。怖いですよ。(明さん)

【アドバイス】【生活】

私は群馬県の田舎育ちなのです。古い集落共同体の中で育ちました。私の親は教員だった
ので、周り比べると少し異質だったと思います。そんな環境のなかで、子供ながら「し
がらみが多くて大変なところ」という想いが育ったのだと思います。そんなことから最初
に金山で家を探すときも、一定の距離が置ける場所がいいと思っていました。集落の外れ
のぽつんと離れたところとか、集落の中ではないところとか、そんな感じで探しました。

こちら(只見)でも、この別荘地なら、外から来られた人が多く、それほど人間関係も密
にはならない。適度な距離が取れるという感覚があって、ここなら生活できるだろうと思
いました。ある意味、こちらから地元の人とある程度距離は置いていたかと思います。

(みゆきさん)

例えば「学ぶ会」とか、Wさんとか、Nさんとか、そのような方々と仲良くなったのもそん
なに長くはないです。この4~5年でしょうか。それまでは、本当に、ここにおいて、自分た
ちのペースで、自分たちで動き回っていた感じです。ブナセンターにも行っていましたが、

それもそんなに深いかわりではありませんでした。学ぶ会に入ってから本当に深く付き合いを始めた感じです。(明さん)

もしかすると子供の頃の記憶が“ワクチン”として働いて、免疫力が高まるまで必要な時間を守ってくれたので、その後 スムーズに交流関係が築けたのかもしれない。

この人は都会育ちだから、あまりそういうことが気にならない、しませんでした。私は、心の中に心配や不安としてとどまるものがあつたので、別荘地なら適度な距離を取って生活できるだろうと思いました。(みゆきさん)

ここ(別荘地)は、まだ特別なところかもしれません。でも、ここにも地元の人が住むようになれば、外から来た人と地元の人が住むようになれば、変化して行くと思います。
(明さん)

【印象】

移住して最初の印象はご近所とのお付き合いがどうのこうのと言う心配がなかったので、良いところに来たなと思いました。(みゆきさん)

【二地域居住】

いま自宅マンションの理事をしています。気がつけば自宅から只見町へ 30 年間 通い続けました。只見に通う私たちのライフスタイルを「定住」か、あるいは「二地域居住」か、単純に区分けするなら「二地域居住」になるのでしょうか。事実、鎌倉に住む町外在住者として、私は「ふるさと大使」を拝命し、只見町の魅力や情報を発信していますから。

同時に、30年という年月は「定住者」と「二地域居住者」の壁を取り払い、私たちに思わぬプレゼントをしてくれました。(明さん)

そう「自然ガイド」って、基本「町民」でないと駄目だったのに。(みゆきさん)

「自然ガイド」も「野生動植物保護監視員」も、「町民」でないと認められないのですが、こうして「町民」としての扱いを認められ、登録、活動しています。(明さん)

只見へ通い続けた 30 年を思うと感慨深いですね。(明さん)

まあ 30 年間、人生の約 1/2 近く、釣りをしていたってことですよ。(みゆきさん)

2020 年 8 月 28 日 ご自宅にてインタビュー

インタビュアー 移住コーディネーター 生天目 博